

小出力発電設備等保安力向上総合支援事業

令和4年度予算額 **3.0億円（新規）**

事業の内容

事業目的・概要

- カーボンニュートラル実現に向けて、再エネ発電設備のさらなる導入が期待されています。一方で、近年、太陽電池パネルの飛散や風力設備のタワー倒壊等、小出力発電設備の損壊により社会的影響を及ぼした事故が発生しています。
- 公共の安全を確保しつつ、再エネ発電設備の導入を最大限進めるためには、小出力発電設備の保安を確立させるため、竣工時の設備の確認が必須です。
- 本事業では、電気設備保安担当者の育成や、小出力発電設備の設置状況を把握するデータベースの構築により、小出力発電設備による公衆被害を低減するための体制構築を支援します。

成果目標

- 本事業を通じ、小出力発電設備の保安活動を適切に進めることで、設備の事故率の低減を目指します。

条件（対象者、対象行為、補助率等）



事業イメージ

（1）小出力発電設備の保安人材育成事業

- 小出力発電設備の設置者は保安に詳しくないことが多く、竣工時の設備確認等の保安活動をサポートする能力のある者の育成が必要です。
- 設置者を対象とした保安活動の普及啓発を目的とするセミナーの開催や、保安業務担当者の育成により、小出力発電設備の保安力向上支援を行います。

（2）小出力発電設備データベース構築事業

- 小出力発電設備の設置状況を把握し、設備設置者・占有者に対して適切な保安活動を促すことが必要です。
- 小出力発電設備の設置状況を集約したデータベースを構築するため、設備設置者・占有者が簡単に情報登録できるシステムを整備します。



<社会的影響を及ぼした小出力発電設備の事件事例>